

# PIXEL COMPANYYZ INC.

2023.2.16

2022年12月期 決算事業説明資料

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

PIXEL  
COMPANYZ INC.

## ■ 目次

- **ピクセルカンパニーズ 会社概要**
- **2022年 第12月期**
  - **ビジネスサマリー**
  - **連結業績**
- **2022年 第12月期**
  - **セグメント成績**
- **2023年度 経営方針について**
- **お知らせ**

### 【免責事項】

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づき将来に関する見通しです。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績を確約するものでなく、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、予めご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、そのほかの結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改定するとは限らず、当社グループはそのような義務を負いません。尚、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもございません。

# ■ ピクセルカンパニーズ 会社概要

## 経営理念

個性という輝きとグループの絆をもって誠実で大きなビジネスを通じ  
ひとりひとりが誇りをもって豊かな人生を歩む

### PIXEL COMPANYZ INC.

名称	ピクセルカンパニーズ株式会社 －PIXEL COMPANYZ INC.－
代表者	吉田 弘明
設立	1986年10月
資本金	3,466百万円 (2022年12月31日時点)
従業員数	98名 (連結) (アルバイト含む)
証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 証券コード 2743
事業内容	グループ全体の経営方針・戦略策定・ 経営管理、システムイノベーション事業

### PIXEL COMPANYZ GROUP

システムイノベーション事業  
ピクセルハイ合同会社

ディベロップメント事業  
ピクセルエステート株式会社

エンターテインメント事業  
ピクセルゲームズ株式会社

その他(海外)事業  
HYBRID(HK)CO.,LIMITED

# 2022年 第12月期

- ビジネスサマリー

- 連結業績

## ■ 2022年12月期-ビジネスサマリー

2月 グループ事業再編の検討開始

3月 メタバースリゾート開発プロジェクトのテストマーケティングを開始  
Decentraland内に初の自社建築物を公開

4月 データセンター事業の開始  
新卒エンジニア社員57名が入社

8月 データセンター事業における自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金  
の交付が決定

11月 連結子会社ピクセルソリューションズ(株)の株式及び債権譲渡  
ピクセルカンパニース(株)にてシステムイノベーション事業を開始

■ 連結経営成績 [3カ年推移]

[単位：百万円] ※百万円未満切捨て	2020年	2021年	増減 (前年同期比)	2022年
売上高	2,352	1,014	▲440	574
営業利益	▲299	▲625	213	▲412
経常利益	▲313	▲629	199	▲430
当期純利益	▲942	▲1,440	1,032	▲408
1株当たりの純 利益 [※単位：円]	▲35.84	▲46.21	36.41	▲9.80

- ✓ ディベロップメント事業において大型太陽光案件の引渡しがなかったこと等から前年同期比で売上高が減少
- ✓ システムイノベーション事業における人員強化のための先行投資等により営業損失を計上

## ■ 連結財務状況 [前期比]

[単位：百万円] ※百万円未満切捨て	2021年期末	増減	2022年期末
総資産	725	83	808
負債	233	447	680
純資産	492	▲365	127
1株当たりの純資産 [※単位：円]	12.09	▲9.03	3.06

### ✓ 負債の増加

- ・企業価値向上に向けた人員強化のための先行投資に伴い短期借入金が増加

### ✓ 純資産の減少

- ・新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金が増加したものの、  
当期純損失の計上により利益剰余金が減少

# 2022年 第12月期

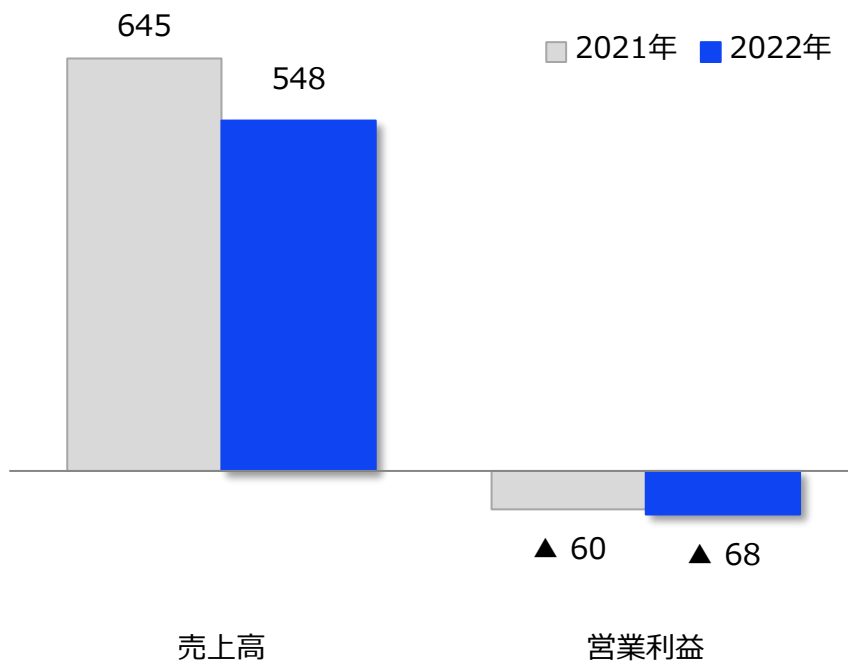
## - セグメント成績



## システムイノベーション事業

### 売上高・営業利益 (前年同期比)

[単位：百万円]



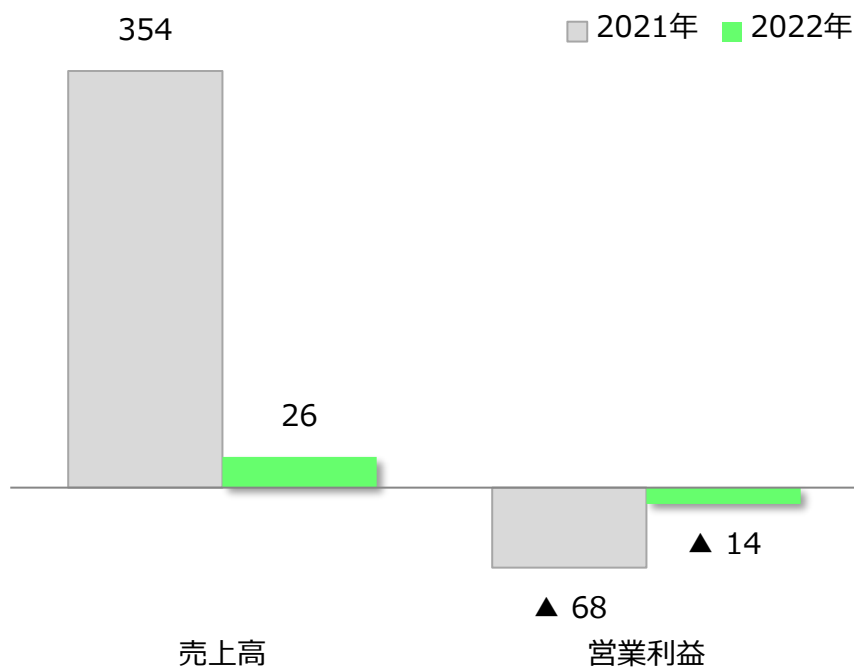
✓ 継続案件の他、新規案件の獲得に取り組んだものの前年に比べ売上高が減少

✓ 2022年新卒採用のエンジニア育成に伴う人件費及び教育費等の増加により営業損失の計上

## ディベロップメント事業

### 売上高・営業利益 (前年同期比)

[単位：百万円]



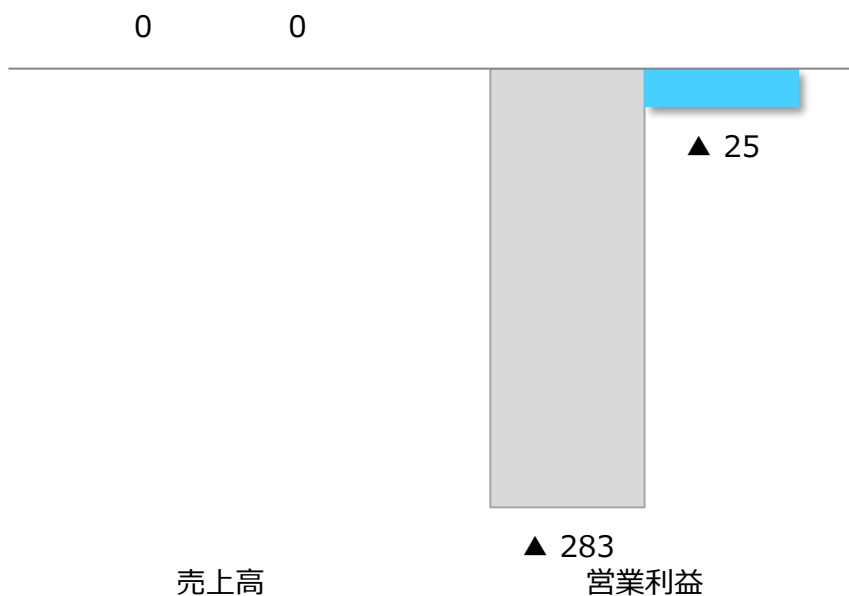
✓ 仕掛りの太陽光発電所の開発が進捗せず  
大型案件の引渡がなかったことにより売上高が減少

## エンターテインメント事業

### 売上高・営業利益 (前年同期比)

[単位：百万円]

■ 2021年 ■ 2022年



✓ 海外カジノ施設へのカジノゲーミングマシン販売に係る営業活動一時中断が継続  
(コロナ禍によるマカオの店舗休業や施設制限等)

# 2023年度 経営方針について

## コンプライアンス経営 －再発防止策の実施－

既に公表させて頂いております通り、当社に関連する社内の不正事案が複数発生しており、株主・投資家の皆様をはじめ、市場関係者及び取引先の皆様に、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。

社内外の調査委員会からご指摘・提言を受けて策定した再発防止策を経営に反映すると共に、一層内部統制の強化に取り組んでまいります。

昨年策定した再発防止策については、以降各対策についてそれぞれ実施をしております。直近の実施状況につきましては別途公表させて頂いておりますのでそちらをご確認下さい。

今後も役職員一同、コンプライアンス・ガバナンスの徹底に取り組み、早期の信頼回復に最善をつくしてまいります。  
何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 経営方針「選択と集中」 現在までの実施状況

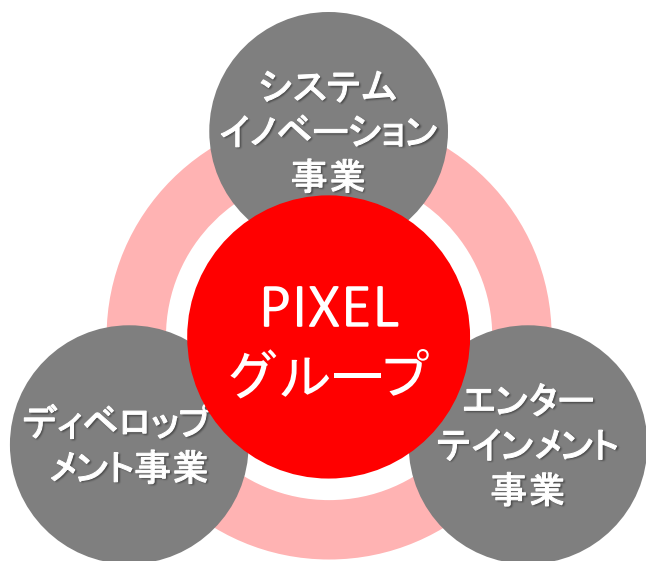
当社はこれまで、アフターコロナを見据えた当社グループの事業環境を踏まえ、2022年度からの新たな経営方針として『**選択と集中**』を掲げ事業転換を図って参りました。既存事業の見直しと今後の「中核事業」「成長の可能性」に対して経営資源を集中させ企業価値の向上に向け取り組んでおります。その実施については現在も完了へ向けて『**事業の選択と集中**』と『**組織再編**』の両面から進めており、2023年度も継続して推進してまいります。

- 事業の選択と集中 → コア事業に経営資源を集中させ成長へ
- 組織再編 → より効率の高いグループ経営の基盤作り

※次頁より、それぞれの状況をご説明いたします。

## 経営方針「選択と集中」 【事業の選択と集中】

今までの当社グループの事業ポートフォリオを見直し、下記の通り中核事業(コア事業)とノンコア事業に分け、これまでの多角化してきた経営を改め、中核事業に絞ったより効率的な経営を目指しております。



### 中核事業

システムイノベーション事業

### ノンコア事業

ディベロップメント事業

エンターテインメント事業

## 経営方針「選択と集中」 【事業の選択と集中】 ～中核事業～

### 中核事業

- ▶ 中核事業としてこれまで集中的に経営資源を投下してきた事業分野、及び今後更なる投資を行い注力する主な事業分野は下記の通り。

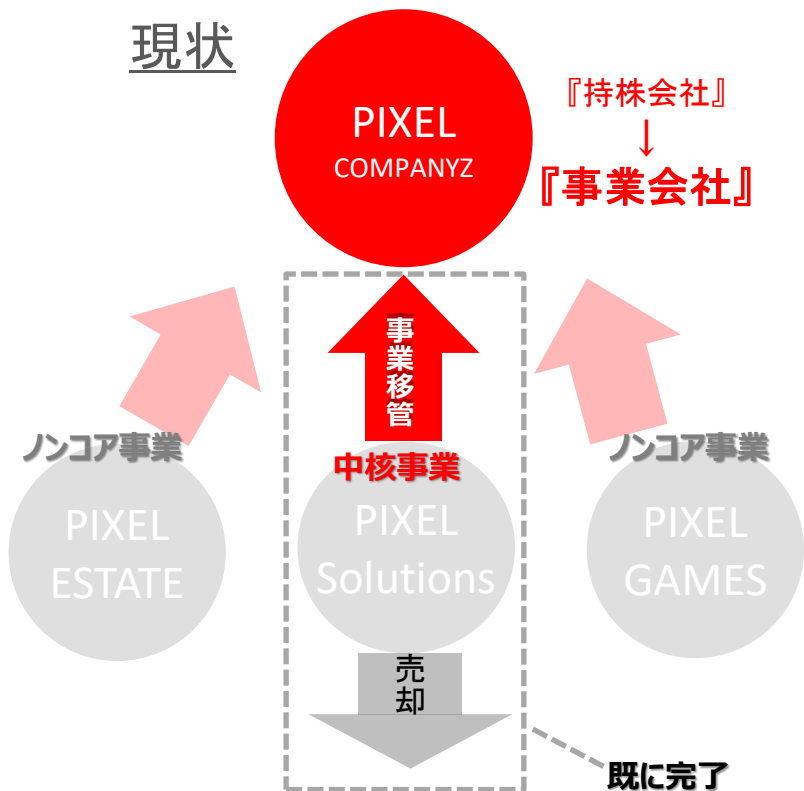
<p>1</p> <p>システムイノベーション事業 <b>AWS及び Salesforce事業</b></p>	<p>2021年10月「AWSパートナーネットワーク(APN)セレクトコンサルティングパートナー」に、2022年1月セールスドットコム コンサルティングパートナーに認定された当社は昨年度新卒57名が入社、研修を経て全員が認定資格を取得。SaaS事業部、Cloud事業部を軸とした新組織を創設し、育成を続けながら更なる成長を目指すエンジニア集団として強化中。</p>
<p>2</p> <p>システムイノベーション事業 <b>データセンター事業</b></p>	<p>システムイノベーション事業の新たな取り組みとして、当社グループのノウハウを活用し日本のデジタルインフラ強化に貢献することを目標とした新規事業。経済産業省の補助事業の実施事業者として採択(2021年12月)・交付決定(2022年8月)を受け、グループ最大の事業規模(約46億円)で、2024年度下期のデータセンター開業へ向けて準備中。</p>



## 経営方針「選択と集中」 【組織再編】

- ▶ 当初より2022年度より順次移行予定である組織再編について、途中段階にある。先行してピクセルソリューションズの非連結子会社化が完了。

### 現状



中核事業である「システムイノベーション事業」を担っていたピクセルソリューションズの全株式を譲渡(2022年11月1日付)、当社連結財務諸表の連結範囲から除外。事業集約による再編で管理コストも削減。

→ 今後は当社が主体として中核事業に取り組み、グループ全体を牽引していく。

残る2社(ピクセルエステート、ピクセルゲームズ)については、前述の通り、事業撤退及び縮小へ向けた状況を鑑みて組織再編を実行する予定。

# お知らせ

# ■ お知らせ

## 1. (経過開示) 福島県大熊町との立地協定締結及びデータセンター事業運営開始時期の延期に関するお知らせ (※1)

2023年1月19日付でお知らせのとおり、当社子会社であるピクセルハイ合同会社は、福島県双葉郡大熊町にて整備が進められている産業団地「大熊中央産業拠点」内にデータセンター施設を建設するため、福島県大熊町と立地協定を締結致しました。

また、当該事業の運営開始時期を、予定地の変更および建設資材や半導体関連部品の価格高騰や在庫不足のため、2023年夏頃から2024年夏頃へ延期することといたしました。

## 2. 第三者割当により発行される新株式及び第13回新株予約権の募集に関するお知らせ (※2)

2023年2月8日付で開示のとおり、同日開催の取締役会において、第三者割当により発行される株式の募集及び第13回新株予約権の募集を行うことを決議しました。資金調達の額は約20億円となります。